



わんくま同盟 福岡勉強会#9

福岡OSS研究会の活動紹介

(財)九州先端科学技術研究所

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

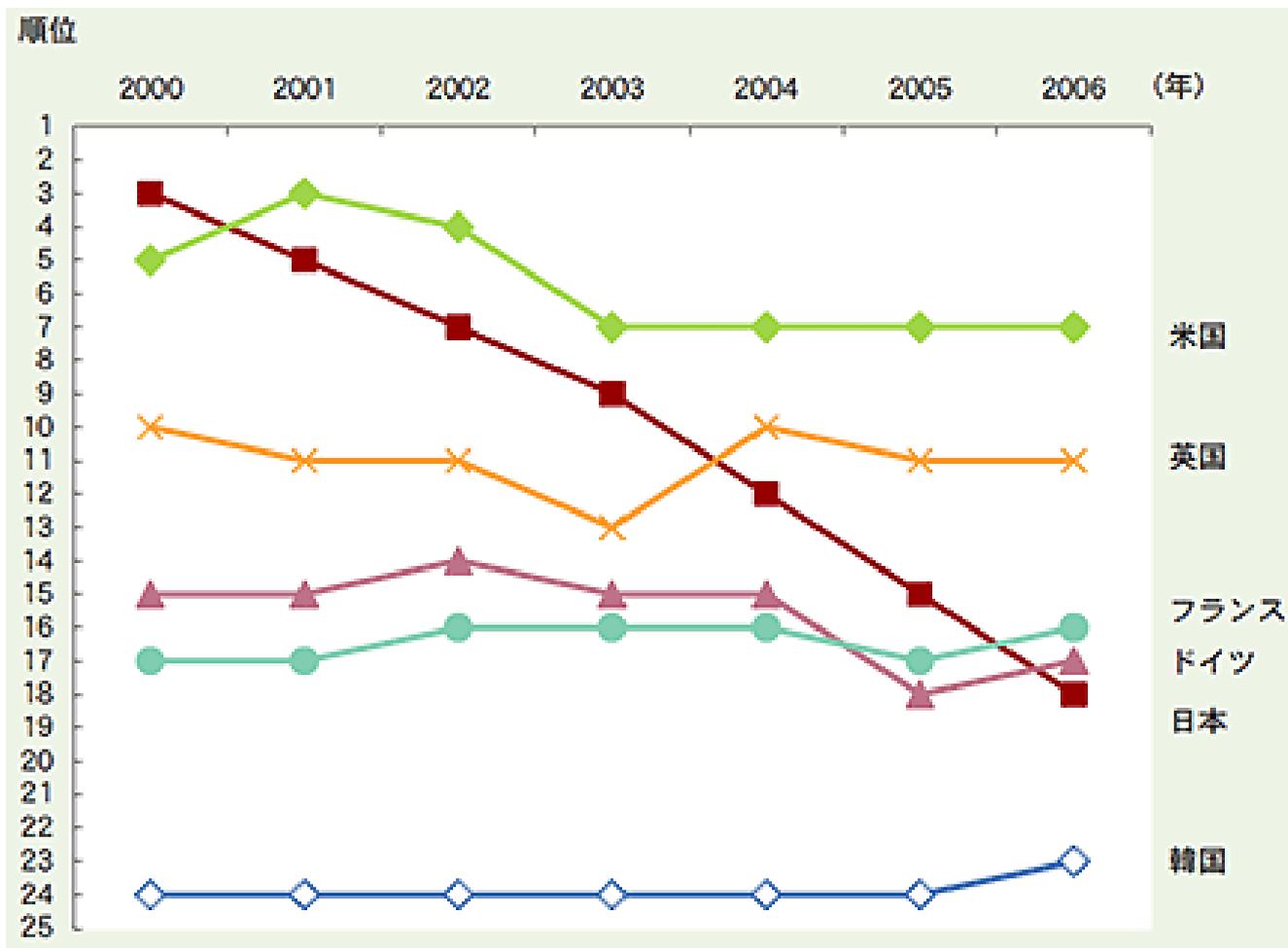


Agenda

- なぜオープンソースソフトウェアか？
- OSS研究会活動紹介
- オープンソース・カンファレンス2009 福岡
へのお誘い

GDP

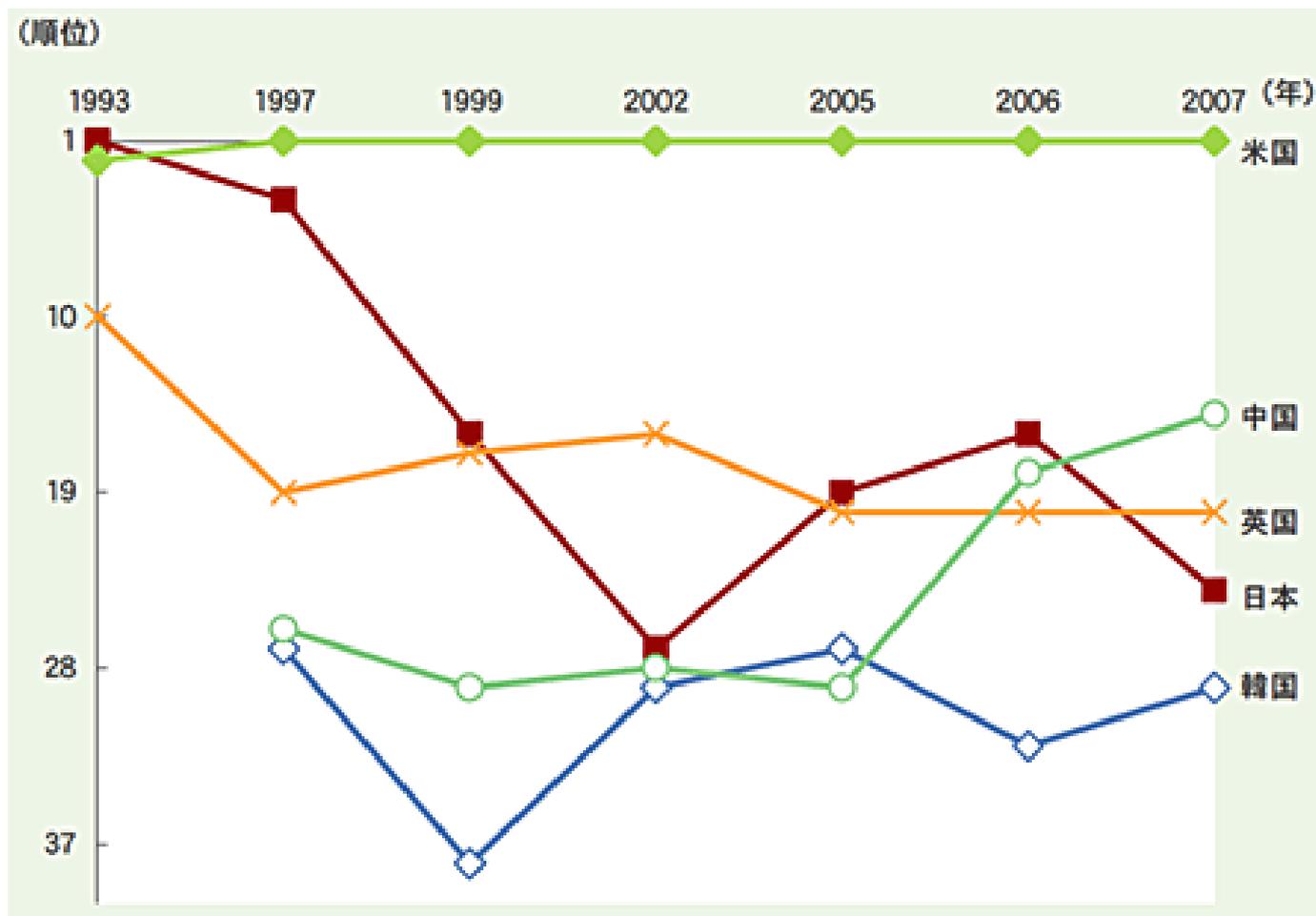
OECD諸国の一人当たり国内総生産（名目GDP）の順位



資料：内閣府経済社会総合研究所「国民経済計算平成18年度確報」

国際競争力

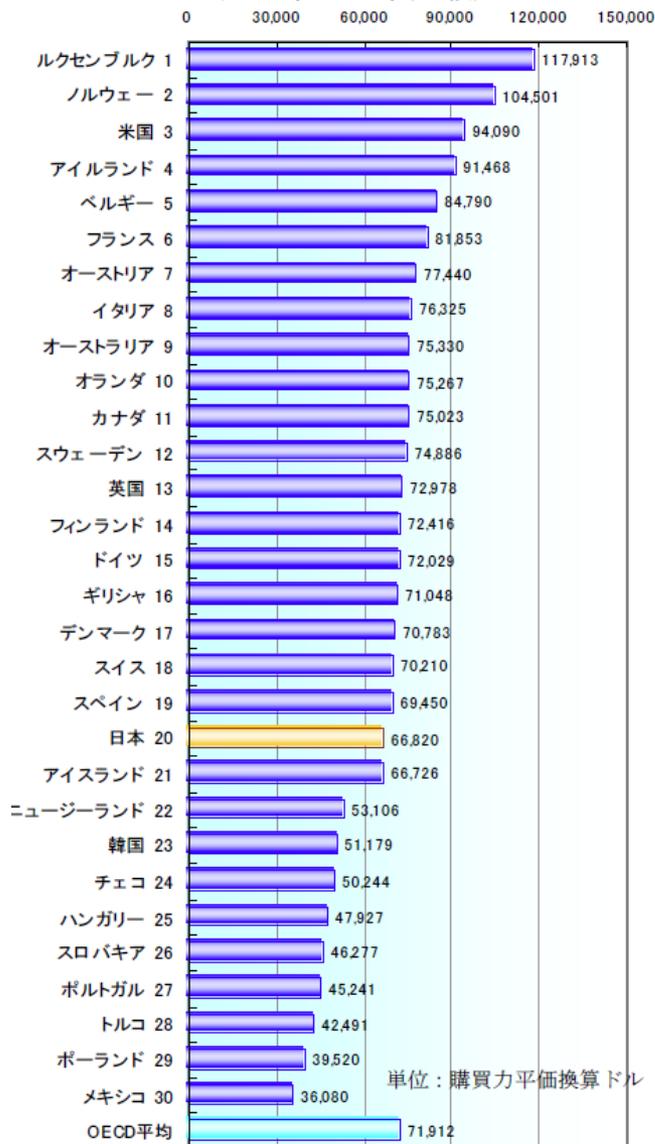
IMD国際競争力ランキングの推移



資料 : IMD 「World Competitiveness Yearbook 2008」

労働生産性

(2007年/30カ国比較)



OECD加盟諸国の労働生産性

資料：財団法人 社会経済生産性本部
「労働生産性の国際比較・2008年版」

グローバル化

世界をフラット化した10の力

1. ベルリンの壁崩壊と、創造性の新時代
2. インターネットの普及と、接続の時代
3. 共同作業を可能にした新しいソフトウェア
4. アップローディング：コミュニティの力を利用する
5. アウトソーシング：Y2Kとインドの目覚め
6. オフショアリング：中国のWTO加盟
7. サプライチェーン：ウォルマートはなぜ強いのか
8. インソーシング：UPSの新しいビジネス
9. インフォーミング：知りたいことはグーグルに聞け
10. ステロイド：新テクノロジーがさらに加速する

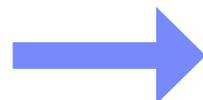


イノベーションプロセスの変化

IBM

変化するInnovationの性質

- Open
- Collaborative
- Multi-Disciplinary
- Global



Linuxへの
年間100億以上の投資

Patent-Commons
500の特許をオープンに

P&G

イノベーションの新たなビジネスモデル
Connect + Develop

Connections Model
(Connections IQ)

VS

Invention Model
(Intellectual IQ)

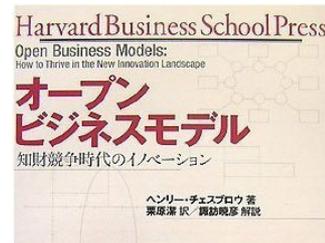
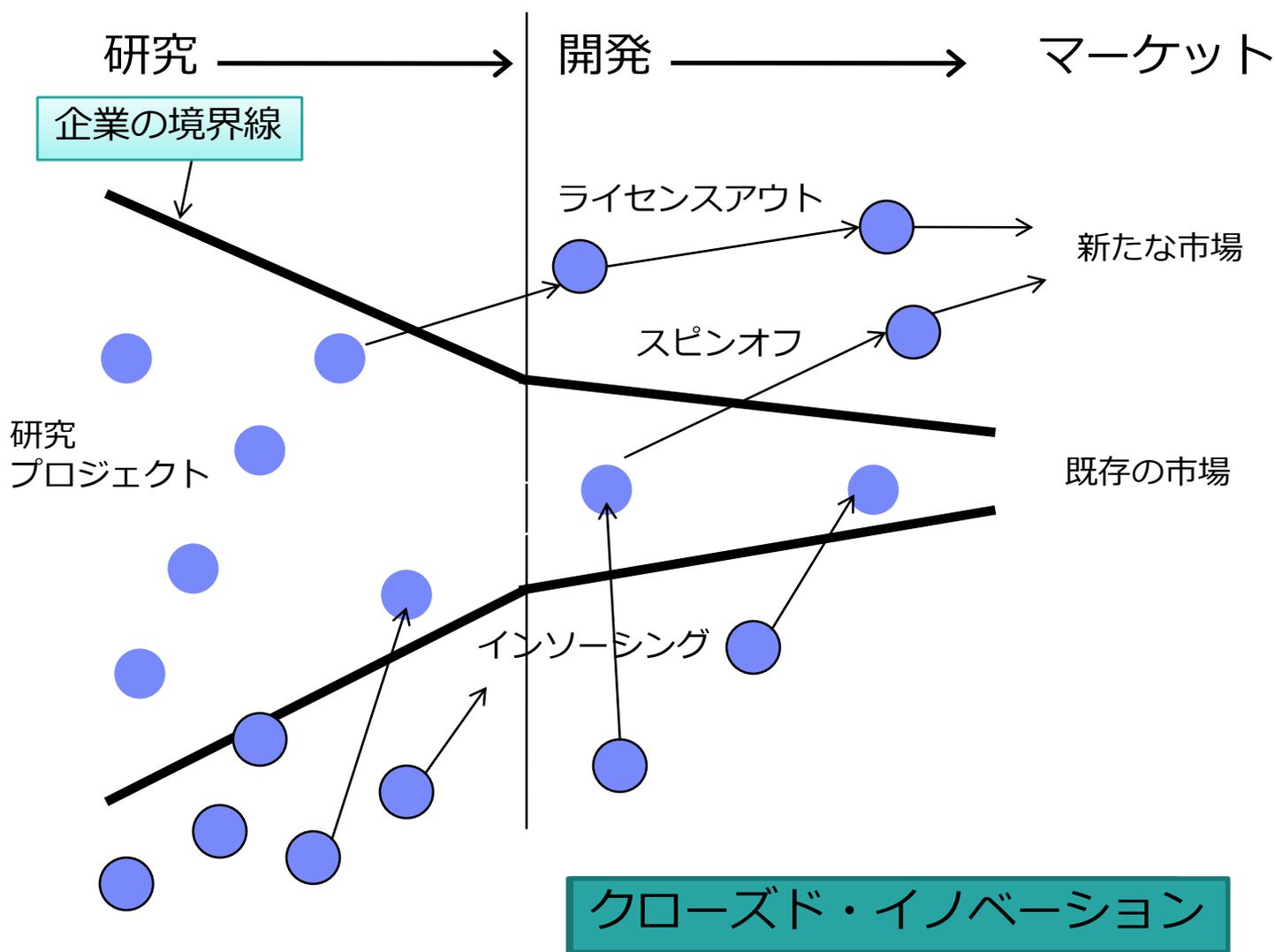
New
Sales



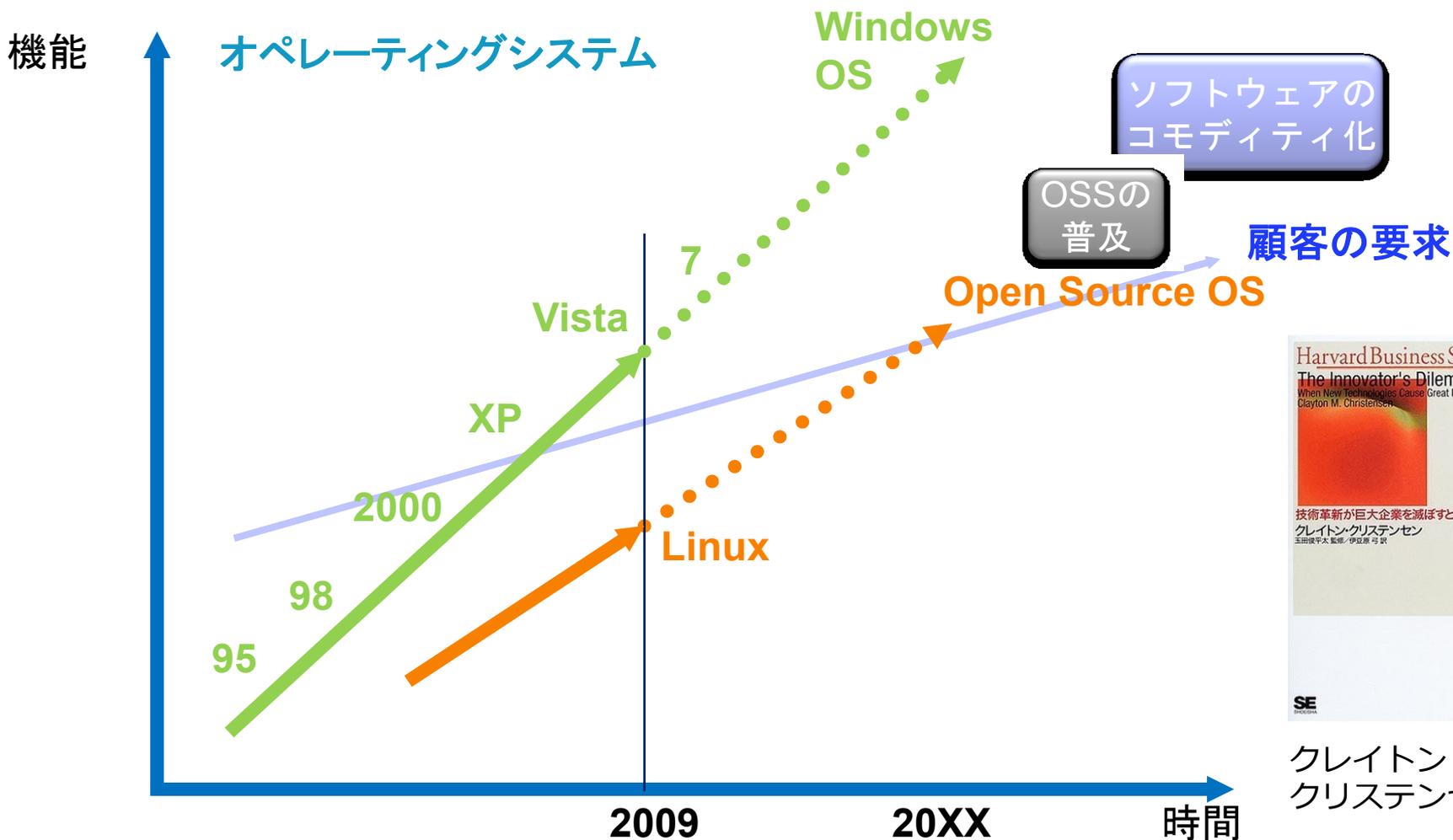
P&G R&D
9,300 People



オープンイノベーション



ソフトウェアに関するイノベーションのジレンマ



クレイトン・クリステンセン (著)

福岡OSS研究会

いきさつ 福岡産学ジョイントプラザからの受託事業

→研究会立ち上げ支援（地場企業のニーズを調査し研究会を立ち上げる）



IT、ソフトウェア関連産業

◆ソフト系IT産業の集積地

	駅名および駅所在地	半径1キロ圏内の事業所数
800以上	千代田区秋葉原駅	845
500以上	新宿区新宿駅	514
	渋谷区渋谷駅	503
400以上	中央区茅場町駅	509
	大阪市中央区心斎橋駅	488
300以上	福岡市博多区博多駅	449
	千代田区九段下駅	385
200以上	他、4地域	
	名古屋市中区栄・錦付近	290
	福岡市中央区天神駅	208
	他、11地域	

平成18年9月(国土交通省調べ)

◆ソフト系IT産業の都市別事業所数

順位	都市名	事業所数
1	東京都23区	10,085
2	大阪市	2,843
3	名古屋市	1,453
4	横浜市	1,154
5	福岡市	1,125
6	札幌市	945
7	仙台市	565
8	広島市	547
9	京都市	458
10	神戸市	401

平成18年9月(国土交通省調べ)

ソフト系IT企業の課題

① 下請け化によるコアコンピタンスの欠如

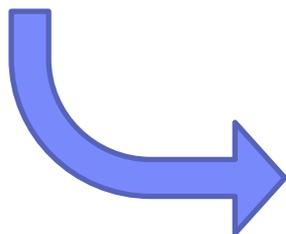
ソフトウェア業界では、下請け、孫請けと繰り返される慢性的な産業構造により、中小ソフトウェア開発企業では、自分で仕事を選ぶことはできず、与えられた課題を解決するためにシステム開発を行っているのが現状であるが、元請けでないため自分で開発ツールを選ぶこともできず、ノウハウが社内に残らないため、なかなか自社の強みを持つことができない。

② オフショア開発による案件の減少と工数単価の下落

インド、中国、ベトナムといった新興国に、ソフトウェアの開発を外注するケースが増え、下請けとしてのコンペが単価の安い海外に移ってきており、元請けからの値下げの圧力により工数単価が下落し、収益力が低下している。

③ 技術者流出による技術力の低下

下請けの仕事が多いため、積極的に新しい技術を取り入れることもできず、与えられた開発をただこなして行くケースが多く、より付加価値の高い仕事ができる、首都圏へ人材が流出してしまうケースが多い。



OSSへの取り組みで課題解決を支援

- ① 元請けをやり、特定分野OSSのコミッタを育成することでコンピタンスを強化できる
- ② OSSを活用して、コストを下げることによりオフショアに対して競争力をつける
- ③ 中小企業を対象に上流から下流までビジネスをやることにより、人材の流出を止める

OSSと地域振興

福岡市の産業構造

市内総生産

九州・山口地区のビジネスや消費を背景としたサービス業や卸売・小売業が総生産額の多くを占めています。



工業社会から知識社会へのシフト

スキル・ノウハウの共有化・流通性を高める必要がある。

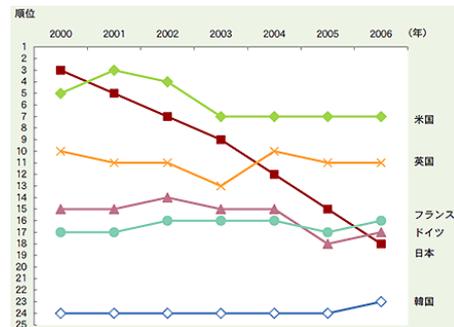
第3次産業の生産性向上の必要性

IT技術の利活用

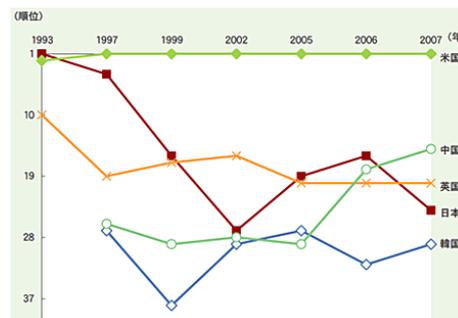
オープン・イノベーション

OSSに取り組むことで、オープンな環境でのイノベーションを加速させ、新たな革新的なITサービスの創造により、生産性を向上させることができる。

OECD諸国の一人当たり国内総生産（名目GDP）の順位



IMD国際競争ランキングの推移



OECD加盟諸国の労働生産性

福岡OSS研究会

中小ソフト系IT企業では、コアコンピタンスの確立と、技術力強化が大きな課題であり、ソフトウェアのコモディティ化により、今後はオープンソースへの取り組みが重要になってくる。

地場企業へのヒアリング結果から、意見が多かった「オープンソース・ソフトウェア」をテーマとした研究会を立ち上げ、産学連携による地場ソフト系IT企業の研究開発技術力向上を目指す。

福岡OSS研究会

目的:

オープンソースソフトウェアの普及促進

オープンソースソフトウェア技術者のコミュニティ作り

オープンソースソフトウェア技術者の人材育成

実施計画

福岡OSS研究会
講演会(啓蒙活動)

過去4回実施

オープンソースカンファレンス
地元コミュニティの連携強化

過去2回開催

初心者研修
地元IT企業への貢献

検討中

第1回福岡OSS研究会 実施報告

- 実施日時：平成18年12月19日（火） 15:00～18:00 講演会
18:00～19:00 交流会

- 開催場所：福岡SRPセンタービル 2F SRPホール（百道浜）
- 参加者：144名（定員150名）

- 講演①

独立行政法人 情報処理推進機構 オープンソースソフトウェア・センター
センター長 田代 秀一 氏

テーマ：「OSSの活用のために～IPA/OSSセンターの取り組み～」

- 講演②

株式会社 ネットワーク応用通信研究所 代表取締役 井上 浩 氏

テーマ：「島根におけるOSSの現状」

- 講演③

株式会社 ネットワーク応用通信研究所 研究員 まつもと ゆきひろ 氏

テーマ：「Rubyのチカラ」



第2回福岡OSS研究会 実施報告

- 実施日時：平成19年3月20日（火）
15:00～17:45 講演会
18:00～19:00 交流会
- 開催場所：福岡SRPセンタービル 2F 視聴覚室（百道浜）
- 参加者：61名（定員60名）
- 講演①
日本仮想化技術株式会社 代表取締役社長 宮原 徹氏
テーマ：「仮想化技術&「Xen」最新動向」
- 講演②
福岡大学 理学部応用数学科 助手
KNOPPIX教育利用研究会 会長 濱田 龍義氏
テーマ：「KNOPPIX/Math ～OSSの可能性～」
- 講演③
福岡県企画振興部高度情報政策課 主任主事 澤 卓志氏
テーマ：「無料で使えるブロードバンドハイウェイ ふくおかギガビットハイウェイ」



第3回福岡OSS研究会 実施報告

- 実施日時：平成19年8月23日（木） 15:00 ～ 17:30 講演会
17:30 ～ 18:30 交流会
- 開催場所：福岡SRPセンタービル 2F SRPホール（百道浜）
- 参加者：65名（定員80名）

- 講演①

- ✓ 島根大学 法文学部 教授（情報経済論）
野田 哲夫 氏

- ✓ テーマ：「オープンソース・ソフトウェアと
地域の情報サービス産業」

- 講演②

- ✓ 株式会社スターロジック 代表取締役兼CEO
羽生 章洋 氏

- ✓ テーマ：「OSSがもたらす小さなソフト会社の可能性
～ある零細企業の脱下請のための挑戦の記録～」



第4回福岡OSS研究会

- 実施日時：平成20年9月26日（金） 15:00～17:40 講演会
17:50～19:00 交流会
- 開催場所：福岡SRPセンタービル 2F SRPホール（百道浜）
- 参加人数：60名
- 講演
 - ✓ ソニー株式会社 上田 理氏
 - ✓ テーマ：「オープンソースソフトウェア開発の実践
－情報家電機器向けOS開発の挑戦－」
- 取り組み紹介①
 - ✓ 株式会社 福岡CSK 稲津 文明氏
- 取り組み紹介②
 - ✓ パナソニック コミュニケーションズ株式会社
佐藤 祐之氏



オープンソースカンファレンス 2007 福岡

- 日時：2007年12月8日(土) 10:00 ~ 18:00
- 場所：アスクビル (博多駅)
- 参加者：250名
- セミナー数：26
- 展示参加団体：23
- 共催：
(財)九州システム情報技術研究所
福岡OSS研究会
福岡産学ジョイントプラザ実行委員会
福岡市
福岡商工会議所
- 企画運営：株式会社びぎねっと



オープンソースカンファレンス2008 福岡

- 日時： 2008年12月13日(土) 10:00-17:30
- 会場： 福岡大学文系棟
- 主催： オープンソースカンファレンス実行委員会
実行委員長 濱田 龍義
(福岡大学理学部応用数学)

- 参加費： 無料
- 参加人数： 約450名

- セミナー数： 41
- 展示参加団体： 33

- 共催：
福岡大学
(財)九州先端科学技術研究所
福岡OSS研究会
九州大学大学院数理学研究院グローバルCOEプログラム
マスフォアインダストリ教育研究拠点

- 企画運営： 株式会社びぎねっと



オープンソースカンファレンス2009 福岡

日時：2009年12月5日（土）10:00-17:30

会場：九州産業大学

オープンソースに関係なくても良いです。
展示も無料ですので、参加をご検討ください！

勉強会・勉強会は今年も開催予定
福岡ローカルトラックも検討中！